

はばたき

2016. No. 84

一歩前へ



○ 一歩前へ P 2

○ あの頃の自分へ P 3



みどり園 施設長

吉野 員 史

25年間、見続けた船橋の桜に別れを告げて、翌朝には利根川土手沿いの桜並木の横を車を走らせました。この春から「みどり園」の施設長という大役を仰せつかった初出勤です。

指定管理への移行準備に携わって来たとは言え、現場を知らないことはこれ程、不安になるものかと思っていた4月から早6ヶ月が経ちました。

みどり園の支援体制は、老いていく利用者の実態像に丁寧に取り添い、徹底した健康管理を軸にシステムの中で職員が業務にあたるといふ、医療系の雰囲気を感じさせます。加えてリスクマネジメントの手法やマニュアル策定、データ管理の枠組みにも長けた事業所であると自負しています。施設の説明責任が重要視される昨今、このような取り組みは継続していかねければなりません。生活場面に眼を向ければ、20人で一つの空間を拠点とするユニット制に絶対的な特徴があります。多くの先人方がこれを有効と捉えた通り、利用

者にとって過度のプレッシャーのない個を大切にしたい住まいは、悲喜こもごもを身近に感じられる距離感があります。

ただ、現状に甘んじていては利用者のこれからのことやより充実した生活に繋げることは出来ないと思っています。私は理事長から「職場とは聖地である。毎日真摯な気持ちで取り組みなさい。」と教えられ、自分の全力のスタイルを持ってそれを実践して来ました。言い方を変えれば突っ走って来ただけでも知れません。しかし、今こうして大役を担う立場になると毎日が恐くて仕方がないものです。病院に向かった利用者をお案じ、老いてハンドルを握る母親を案じ、夜勤明けの職員を見送るのは実に心臓に悪い。結局、何かを動かし一歩でも前へ進むためには一人では何も出来ず、個を結集した組織力が物を言うのです。私もその一員として先輩、後輩に助けられ「みどり園」と共に歩きたいと思っています。

へ 前 一



ふなばし工房 施設長

関 厚

4月より「ふなばし工房・みらい工芸館」（以下ふなばし工房）の施設長を拝命し6か月が過ぎようとしています。中原前学園長から引継ぎ不安だらけの船出となりましたが、成熟した組織であるふなばし工房の職員、そして利用者・保護者に支えられ大過なく運営できております。

さて、昭和46年に法人の認可を受け、翌47年に入所更生施設として産声を上げた大久保学園ですが、設立当初から「障害を持つていても、大人である以上は働く」を理念に掲げ地域社会での自立した生活を目標に支援を行い、多くの就労者を送り出してきました。この理念を法人全体で受け継いでいますが、その中でも一番強く受継いでいるのが「ふなばし工房」です。平成8年に定員30名で開所して以来その時々ニーズに応えながら事業展開を行い、現在は2つの多機能型事業所（就労移行支援・就労継続B型・生活介護）として80名を超える利用者にサービスを提供するまでにな

りました。特別支援学校を卒業したばかりの若く元気な利用者と熱血漢溢れる職員が共に汗を流し働き、お互い成長しながらふなばし工房を作り上げてきました。野菜・果樹作り、パン・焼菓子等の食品加工、企業と連携した室内作業は、製品の質・作業の質共に一般の市場でも誇れるものであります。

一方で、20年歩み続け利用者さんの平均年齢も44歳、最高齢者は男女とも傘寿を迎え、日中作業の在り方も大きく変わりつつあります。新たに仲間に加わる利用者への対応も多様化しています。この現状をしっかり受け止め、今後はこれまで積み上げてきた様々な取り組みを継承し大切にしながら、新たなステージに向かい一歩前に踏み出し進んでいきたいと思っています。さらに、職員一丸となり「ふなばし工房があつて良かった」と利用者や保護者に言ってもらえる施設作りを目指していきたいと思っています。

あの頃の自分へ

～10年前の私へアドバイス～



光風みどり園 係長
入澤 哲夫

10年前の私は30歳。結婚をして2年目。市原のアパートに住み、最初の子供が生まれた。自身の環境が変わり始める時期だった。

10年前の私は大久保学園の地域支援課でグループホーム

の担当をしていた。

仕事も少しずつ任せてもらえる部分が増え、自分の力を発揮して認めてもらえるようにと頑張っていたように感じる。人に聞かれることが多くなり、指示を出すことが増え、担当部署が少しずつ増え責任ある仕事も多くなり充実感を感じていた。調子に乗りやすい私は自分の力を勘違いして恥ずかしい態度をとっていたにちがいない。

そうだった過去の自分に今の自分からアドバイスをするとすれば……、「謙虚さと感謝を忘れない事」だろうか。年数を重ねていくたび、また立場が変わるたびに見えるものが変わってくる。文句ばかり言っていた自分は学びが浅く表面的で短絡的だった。無知がゆえによく吠えていたように思える。苦勞を知り、物事が少し見えてくれば悩ましく判断に迷うことが多くある。

それでも過去の自分は見えていないなりに一生懸命やっていたと思う。若さゆえの勘違いも、ある意味当然なのかもしれない。そういったものを乗り越えながら、その先に謙虚さと感謝を忘れないように過去の自分に伝えたい。

そうして重ねてきたものが今の自分。今がどんなに厳しく辛くても笑って振り返られる瞬間が必ずくる。苦勞のひとつひとつに意味があると感じる。

また未来の自分は今の積み重ね。なりたいたい自分になるために今、惜しまず苦勞をしているか。過去に意味を見つけ、今に苦勞し、これからにつなげていきたい。



みどり園 支援員
加瀬 史仁

新人の支援員が利用者の対応に苦慮している光景を見ることはありません。私自身もまだまだ勉強不足で適切な助言ができていないのか自信がなく、日々ともに悩んでいるところです。

先日、入職した頃の自分はどのような支援をしていたのだろうと思うことがありました。私が大久保学園に入職して真つ先に感じたこと、それは「この仕事、いつまで続けていけるのかな」という不安でした。ボランティアを経験していたこともあって、知的障害についての理解は人よりあるつもりでしたが、利用者一人一人にあった適切な対応がわからず、途方に暮れる毎日だったからです。Oさんは一斗缶のキャップ加工を日中活動としていたのですが、フラフラと外へ出て行き継続した取り組みができない方でした。当時の私はその都度活動場所で作業をやるよう声を掛けていましたが、定着には至りませんでした。数年後、ある女性支援員が思い付き、彼に穴あけパンチを持たせると、突然活き活きと穴をあけだしました。キャップ加工に取り組めないのは本人にやる気がないから、と私は決めつけていました。あれから何年も経ちますが、Oさんは今日も穴をあける仕事に精を出しています。

「何ごとも決めつけず、広い視野をもつこと」利用者にはそれぞれ得意とするものが必ずあります。どうすればそれを輝かせることができるのか。いろいろな角度から関わっていくことでそれぞれの個性の新たな一面を引き出す支援に結びつくというのを昔の自分に伝えたいと思います。



それぞれの施設だより

みどり園

みどり園では、ユニット毎に毎月様々な企画を催しています。

8月13日には、とりで利根川花火大会がありました。みどり園の園庭から大きな花火が見えるため、年に1度の花火大会は利用者、支援員共に楽しみにしています。当日は、園庭で夕食を食べながら花火を見るといふ普段とは一味も二味も違う格別な夜を過ごしました。

季節ごとに花見や園庭での運動会、大きなスクリーンで観る映画鑑賞会、職員と利用者が一緒にお菓子を作つての会食など、利用者が楽しめるように沢山の企画をしています。これからも毎日、楽しく生活出来るように様々な企画を考えていきたいと思っています。(熊谷)



地域生活支援センター

今年もうだる様な暑さの中、またお盆の季節を迎えました。大久保学園の短期入所事業は毎月たくさんの方にご利用頂いていますが、その中でも年末年始やお盆の様な長期休みになると毎年利用される方々がいます。長い方ですと学生の時から十数年ご利用して頂いていますので、きつと若い職員よりも大久保学園の歴史を知っているのかもしれないですね。勤務にあたる職員も久しぶりに見る顔に思わず笑顔になり「元気でしたか?」と話しかける様子があらこちらで見られます。もしかしたら遠い親戚を迎える様な気持ちになつているのかもしれないですね。

また年末年始にも久しぶりにお会い出来ることを楽しみにしています。(下山)



大久保学園

利用者の暮らしの場を整えるため

に最近3カ所の工事が行われました。

一つ目は船橋グループホールのトイレとお風呂を改修し、とても使いやすくなつたと利用者の方のみなさんも喜んでいます。2つ目は医療面の充実を目指し医務室の拡張工事をしました。3つ目に自分達で女性棟の塗装を行いました。職員でペンキ塗りができないかと施設長より提案を受け、最初はプロにしか出来ない仕事ではないかと不安でしたが、たくさんの方の職員で協力して取り組み、やってみると出来栄は上々でした。自分達で行うことで愛着が増し、きれいな状態を保てるようにこれからも大切に使用していきたいと思っています。きつとこの感覚を施設長は伝えたかったのではないのでしょうか。この想いを後輩に伝えていかなければならないと感じています。新しくなつた物も含めて、自分たちの手でくらしの場を整えて、より快適な生活を目指していきます。(加賀美)



代宿地域支援センター

当事業所が開所した平成24年の夏から参加させて頂いている、代宿区最大の恒例行事『代宿盆踊り大会』が8月15日に開催されました。5回目となる今年の夏も7月から始まる週1回の踊りの練習や、櫓の組み立てなどの会場設営、婦人会の皆さんと作る花飾り、大会翌日の朝6時からの会場の片付けなど、地域の多くの皆さんと共にこれまでの大会を支えました。

特に今年は、大久保学園代宿地域支援センターとして、例年以上に多くの職員が、華やかな浴衣姿の利用者と一緒に盆踊りを大いに楽しみました。

今後も地元行事だけでなく、様々な機会を通して代宿区の一員として、地域と共に歩んでいきたいと思っています。(岡庭)



平成27年度 社会福祉法人 大久保学園 決算報告

(単位：千円)

財産目録

平成28年3月31日現在

資産・負債の内容			
I 資産の部		II 負債の部	
流動資産	959,490	流動負債	164,357
固定資産	3,788,842	固定負債	547,200
基本財産	2,335,450	負債合計	711,557
建物	1,583,801		
土地	751,649		
その他の固定資産	1,453,392		
資産合計	4,748,332	差引純財産	4,036,775

貸借対照表

平成28年3月31日現在

資産の部		負債の部	
流動資産	959,490	流動負債	164,357
固定資産（基本財産）	2,335,450	固定負債	547,200
固定資産（その他の固定資産）	1,453,392	負債の部合計	711,557
		純資産の部	
		基本金	537,557
		国庫補助金等特別積立金	937,267
		その他の積立金	1,085,800
		次期繰越活動収支差額	1,476,151
		純資産の部合計	4,036,775
資産の部合計	4,748,332	負債及び純資産の部合計	4,748,332

資金収支計算書・事業活動計算書

自平成27年4月1日～至平成28年3月31日

資金収支計算書		事業活動計算書	
勘定科目		勘定科目	
事業活動収入	2,089,235	サービス活動収益	2,016,198
事業活動支出	1,769,624	サービス活動費用	1,861,466
事業活動収支差額	319,611	サービス活動増減差額	154,732
施設整備等収入	80,223	サービス活動外収益	73,036
施設整備等支出	190,176	サービス活動外費用	25,833
施設整備等収支差額	▲ 109,953	サービス活動外増減差額	47,203
その他の活動収入	118,742	特別収益	38,541
その他の活動支出	479,239	特別費用	56,479
その他の活動収支差額	▲ 360,497	特別収支差額	▲ 17,938
当期資金収支差額	▲ 150,839	当期活動収支差額	183,997
前期末支払資金残高	1,037,102	前期繰越活動増減差額	1,636,153
当期末支払資金残高	886,263	当期末繰越活動増減差額	1,820,150
		その他の積立金取崩額	113,500
		その他の積立金積立額	457,500
		次期繰越活動収支差額	1,476,150

社会福祉法人 大久保学園

行事報告

ふなばし工房 旅行

ふなばし工房では旅行を3回に分けて行い、1・2回目は鬼怒川温泉へ、3回目は伊東温泉へ行ってきました。鬼怒川温泉旅行では「行きたい！」との声が多かったり、どう湖ファミリィ牧場にてアトラクションや動物とのふれあいを楽しみ、東武ワールドスクウェアではまさに世界1周遺産めぐりが出来ました。伊東温泉旅行では三津シーパラダイスでのアシカの書道に驚き、芦ノ湖では船上から豊かな自然を眺め癒しの時間を過ごしました。又、夜の宴会のカラオケが盛り上がったのは勿論、新企画の尻相撲は過去最高の盛り上がりで来年も実施決定でしょうか!? 最後に、今回は利用者の方にも企画の段階から参加してもらい、旅先や食事に至るまで決めて頂きましたが「何にしよう?」と笑顔で悩む皆さんがとても印象的でした。どの旅行も大成功でした。(旅行係)



ソフトボール大会

9月16日、17日と2日間に渡り第31回ゆうあいピックソフトボール大会に出場しました。結果は初戦に強豪チームの流山高等学園に惜しくも敗れ翌日の小林賞トーナメントへの進出となりました。

2日目、対戦相手は過去一度も負けた事のない八日市場学園。皆昨日の悔しい気持ちもありやる気十分の中試合に臨みました。いざ試合が始まり初回から順調に得点を重ね、代打や代走など選手全員が一九となり勝利する事が出来ました。ベンチからもたくさんさんの声援があり、非常に良い雰囲気の中で試合になりました。小林賞を受賞出来るのは次の市川大野高等学園対とまりぎソフトボールクラブの勝者との得失点差で決まることになりました。選手、職員も祈る様な気持ちで両チームの試合を観戦しました。結果は市川大野高等学園が勝利。得失点差も僅差で上回れてしまった為、惜しくも小林賞は逃してしまいました。試合には勝ちましたが賞を受賞出来なかった事に皆残念な表情をしていました。

ここ数年の大会、高等学園や千葉選抜の選手を多く有する強豪チームが出場し、中々福祉事業所が勝ち進む事が難しい中で今大会の一勝。賞は逃しましたが試合に勝った時の喜びや試合中の盛り上がりは皆体感出来たと思います。あとはそういった

行事予定

- 大久保学園**
- 11/2 スポーツの集い
 - 11/3 学園祭
 - 11/13 地域交流フェスティバル
 - 11/16 職員バレーボール大会
 - 11/27~28 職員旅行1班
 - 12月 理事会、職員旅行2班
 - 12/6 利用者忘年会、わかば会忘年会
 - 12/10 さわやか芸能発表会
 - 12/28~1/5 保護者会
 - 1月 冬休み
 - 1/4 利用者新年会
 - 1/15 仕事始め
 - 1/15 駅伝大会
- ふなばし工房**
- 11/3 学園祭
 - 12月 利用者忘年会、冬休み
 - 1/15 駅伝大会
- 光風みどり園**
- 11/3 学園祭(大久保学園)
 - 12月~1月 忘年・新年食事会
 - 2月 総合防災訓練
- みどり園**
- 11/2 スポーツの集い
 - 11/3 学園祭(大久保学園)
 - 11/19~20 一泊旅行
 - 12/22 クリスマス会
 - 12/29~1/3 冬休み
- 代宿地域支援センター**
- 11/27 敬老会
 - 12/3 地域との交流会
 - 12月中旬 利用者忘年会
 - 1/13 代宿地区新年会
 - 1月中旬 利用者新年会



強豪チームと対戦する時に気持ちで負けず自分達本来の実力を発揮するだけ。私達大久保学園ソフトボールチームは来年も念願の優勝を目標に掲げ練習に取り組んでいきたいと思っています。(永坂)

寄付金

平成二十八年一月七日
平成二十八年九月三十日

「一般」

山口泰男
船橋東ライオンズクラブ
小松茂利
光風みどり園祭祝金
イトーヨーカ堂労働組合我孫子支部
霊友会
我孫子市社会福祉協議会

ありがとうございました

はばたき 二〇一六 八四号

発行/平成二十八年十一月
発行所/社会福祉法人 大久保学園
TEL 〇四七(四五七)二四六二
FAX 〇四七(四五七)四〇六九
URL <http://www.okubogakuen.or.jp>
Mail shienka@okubogakuen.or.jp
編集/大久保学園 広報委員会
表題書/大久保学園理事長 中原 強